

木質バイオマス灰の肥料としての循環利用に向けて — 再生可能エネルギーと地域農業をつなぐ —

セミナー開催のねらい

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーとして木質バイオマス発電が全国に広がりつつあります。一方で、燃焼過程で発生する「木質バイオマス灰」の多くは産業廃棄物として処理されており、その再利用が重要な課題となっています。木質バイオマス発電の普及に伴い年間を通じて大量に発生する木質バイオマス灰には、カリウムなどの有用成分が含まれる一方、六価クロムなどの重金属による安全性リスクも存在し、農地への循環利用には科学的根拠と社会的理解が不可欠です。

こうした背景を踏まえ、本セミナーでは、木質バイオマス灰を安全かつ有効に肥料原料として活用するための最新研究を紹介します。生研支援センター「オープンイノベーション研究・実用化推進事業(JPJ011937)」の木質灰利用プロジェクトにおける安全性評価、六価クロム低減技術、肥料化技術、農業利用の可能性などを、一般の皆様にも分かりやすく解説します。

本セミナーが、木質バイオマス灰の安全で持続可能な利活用に関する人々の理解を促進し、地域循環モデル構築に向けた実践的な一歩となることを期待しています。

開催日等

日 時：令和7年12月1日(月) 13:00~16:00

開催場所：仙台国際センター展示棟 第3会議室 (<https://www.aobayama.jp/access/>)

ハイブリッド開催(対面+Zoom(ウェビナー)によるライブ配信)

参集範囲：一般市民、自治体関係者、発電事業者、農業関係者、学生、研究者など

参加費：無料

主催：東北大学大学院農学研究科(木質灰循環利用コンソーシアム)

共催：東北地域農林水産・食品ハitek研究会(東北ハitek研究会)

公益財団法人 翠生農学振興会

セミナープログラム

趣旨説明

東北大学大学院農学研究科 教授 牧野 知之

13:00-13:10

講演1：木質バイオマス発電の現状と発電プロセスにおける六価クロムの低減
東北発電工業株式会社 研究員 森 岳人

13:10-13:40

講演2：木質バイオマス灰の化学特性と重金属の制御
東北大学大学院 環境科学研究科 名誉教授 井上千弘

13:40-14:10

講演3：木質バイオマス灰の肥料利用と植物への影響
東北大学大学院 農学研究科 教授 牧野 知之

14:10-14:40

講演4：木質バイオマス灰の肥料原料としての開発経過と課題 朝日アグリア株式会社 技術顧問 研究開発担当 浅野智孝	14:40-15:10
講演5：木質バイオマス熱利用に関する全国的な取組み 一般社団法人 日本森林技術協会 技師 牧野 結衣	15:10-15:40
意見交換	15:40-16:00

申込方法等

- ・当日までに、下記からお申し込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/11KYxBiCkOpxHCANfZMYtueHcbsVLTGtPUOgKJixwTt8/edit>

問い合わせ先

東北大学大学院農学研究科

教授 牧野 知之

E-mail：tomoyuki.makino.d6@tohoku.ac.jp

